

「息を吹き込む、碧く湿った息を、  
都市に眠る竜に、そっと」

2012.3.18 (日)  
13:00-16:00

@TOWN DESIGN CAFE

東京都渋谷区神宮前5-7-18 プラザ青山1F  
TEL:03-6427-1223

鎖につながれた言葉はいらない

# 風船トーク

vol.5

そっと・・・  
息を吹き込んでみよう  
碧く光る湿った息が  
都市に眠る竜にとどくように

息を吹き込んでみよう  
ほっぺたをふくらませて  
海の息を風船に思い切りいっぱい

息を吹き込んでみよう  
言葉を繋ぐ鎖がとけるように  
揺らしてみよう波のリズムに乗って

息を吹き込んでみよう  
リーフの波紋が珊瑚に映るように  
都市をおおう震えるリズムになって

息を吹き込んでみよう  
めざめた竜がひげを動かすように  
そっと・・・

ゲスト: 前泊博美さん(NPO法人いけま福祉支援センター 理事長)  
垣花昇一さん(多良間村 ふるさと民俗学習館)  
開梨香さん(株式会社カルティバート 代表取締役社長)  
池間真吾さん(社団法人宮古島観光協会)  
玉城流敏風会の方々による琉球舞踊があります  
司会: 飯島博(NPO法人アサザ基金代表理事)

参加費: 500円

多良間島の無農薬黒糖で  
作ったお菓子と、三重県大紀町  
七保地区の小学生がブランド化  
して作ったお茶つき

定員: 30名

ご参加をご希望の方は  
アサザ基金へお申し込みください。  
asaza@icom.home.ne.jp

文化の発信地として、国内だけでなく世界からも注目を集める原宿表参道。

ここは、新しい価値が生まれ、人々が新しい価値と出会う街。一方で、明治神宮の大きな杜から街に流れ込む涼風や、風の道を利用して遠く南の島から渡ってくるトンボにも出会うことができる街でもあります。山手線の原宿駅のホームで電車を待っているときに、ふと感じたことはありませんか？ 向かい側の明治神宮の方向からホームに向かって、涼しい風が流れてくるのを。あなたが頬に感じたその風は、そのまま原宿表参道の街中に向かって流れていきます。

## 「風船トーク」とは・・・

まちになって、風になって、生きものになって、ふわふわと心の動くままに、感じたままに、思いついたままの言葉を細い糸を頼りに、宙にうかべながら語り合う。それが「風船トーク」です。

私たちはこれまで、原宿表参道に眠っていた魅力や価値を掘り起こしていくために、明治神宮の杜から広がる風の道や都市の中を移動する生き物たちの道、コンクリートジャングルに潜在する里山、欲望のデザイン、これらの魅力や価値とともに土深く眠る竜、管理された空間を越境するノマド(遊牧民)など、様々な文脈で原宿表参道という都市空間を読み解いてきました。5回目の開催となる今回は、宮古島や多良間島、沖縄本島にて、島の豊かな環境や文化を守り未来へ繋ぐために新たな価値を創造し続け、壁を溶かし膜に変える取り組みを実践している方々と共に、琉球舞踊や島の人々の生き方という文脈から都市空間を読み解きます。会場のお客さんともお互いに触れ合いながら、風船のように言葉を浮かべて、原宿表参道の未来図を自由にデザインしていきたいと思えます。

## トークカフェ・・・各地の協働パートナーや子ども達とつづっている地域ブランドを味わってみてください

### 三重県大紀町の無農薬栽培緑茶 「七保のお宝あたたかきずな茶」

三重県大紀町立七保小学校の子ども達が過疎化により荒れた茶畑を再生させて無農薬でお茶を作りました。「七保のお宝あたたかきずな茶」は子ども達が考えたお茶の名前です。

### 沖縄県多良間島の無農薬栽培の サトウキビからつくった黒糖

多良間島で進行している地下水汚染を食い止め、島の人々の生活と豊かな亜熱帯の自然環境、八月踊りやクバ扇などの伝統文化を守るため、環境保全型栽培のサトウキビのブランド化を計画。

## トークセッション・・・「息を吹き込む、碧く湿った息を、都市に眠る竜に、そらっと」

南の島にすむ竜と、原宿表参道にすむ竜が会合トーク。琉球舞踊のパフォーマンスもあります。

トークセッションの様子を  
Ustreamで中継します！  
asaza\_fundで検索

### ゲスト 前泊博美さん

NPO法人いけま福祉支援センター 理事長。育ててくださった島への恩返しで、島出身の同期の女性6人で平成15年NPOを立ち上げ島興しに着手。人生の最後は住み慣れた我が家から旅したいと願う島のおじやおばの願いを叶えるべく、池間島ならではの小規模多機能型居宅介護を平成18年度より開始。昨年より高齢者の出番・居場所を創る目的で高齢者の経験と知恵とホスピタリティ、島の自然を利用した民泊・体験型観光事業をしかけ実践中。キーワードは「高齢者は島の資源」。島で暮らす人々が毎日笑って暮らせる島を目標にしています。

### ゲスト 垣花昇一さん

平成15年から多良間村 ふるさと民俗学習館勤務。子どもたちを対象に自然観察、昔のおもちゃづくり、昔のあそび、方言、むかし話講座、史跡めぐり、紙漉きなどを行っている。また、休日(日、月曜日)に体験考房・無限塾を主宰。(観光ガイド、ナイトハイキング、漂着物アートづくり、薬草講座など)

### ゲスト 池間真吾さん

社団法人宮古島観光協会 事務局員。修学旅行や農家漁家民泊を担当。農村漁村での島おこしとして農家漁家民泊のネットワークを構築している。1年目で20学校5千人の修学旅行生の誘致に成功。宮古島市内の小学校5校では、島の豊かな自然環境や伝統文化を守り、島の担い手になる子どもたちを育てる学習をNPO法人アサザ基金と連携して展開させ、そのコーディネートを行っている。

### ゲスト 開(比嘉)梨香さん

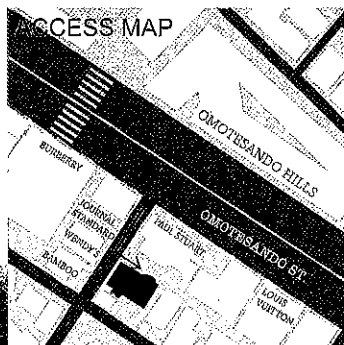
株式会社カルティバ代表取締役。大学時代からマスコミ等で企画・制作を学ぶ。その後リゾートホテルのインテリア、文化施設の展示・内装を多数統括。また日本エコツーリズム協会設立メンバーとして県内におけるエコツーリズムの普及・啓発に努める。2000年有限会社開(現カルティバ)設立。体験・滞在・交流型観光の推進、特産品開発、人材育成等に携わる。昨年より沖縄観光コンベンションビューロー理事・受入推進委員長。

### 通称・玉城前原会館宮古支部 池間美代子琉球研究所のみなさん

玉城前原会館は沖縄県宮古郡で最も歴史人口を有する荒・会館です。その会館内に所属する池間美代子琉球研究所には60人余りが在籍し、日々稽古に励んでいます。今回は高校生と小学生の若い舞踊家が成長をまじり、琉球舞踊を踊ります。

### コーディネーター 飯島博

NPO法人アサザ基金、代表理事。1995年から湖と森と人を結ぶ霞ヶ浦再生事業「アサザプロジェクト」を開始。独自のアイデアで様々なビジネスモデルや事業を提案、上流から下流まで、地域住民、学校、企業や行政、農林水産業を結ぶネットワーク事業、市民型公共事業と呼ばれている。全国各地で竜や河童、キジムナー、子どもたちと一緒に社会の壁を溶かし膜に変える取り組みを展開中。



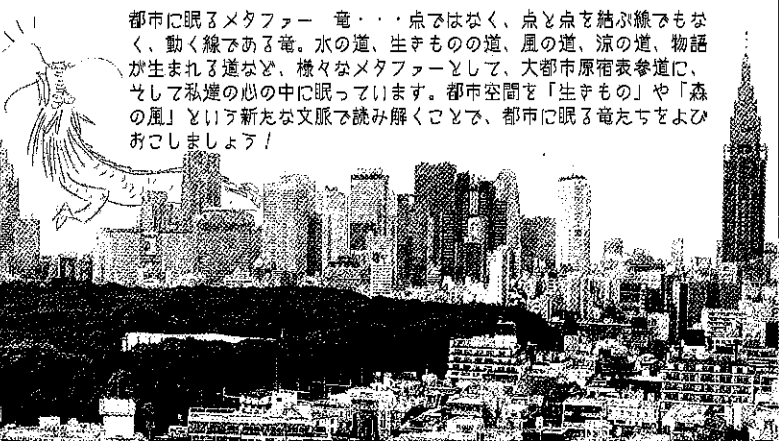
### タウンデザインカフェ

<http://www.towndesigncafe.com/>  
渋谷区神宮前5-7-18 プラザ青山1F  
03-6427-1223

東京メトロ表参道駅から徒歩5分  
JR原宿駅から徒歩9分

「カフェから広がるまちづくり」をコンセプトとした、素敵な空間。壁にかけられた巨大な地図にはまちの様々な情報が集められ、

都市に眠るメタファー 竜・・・点ではなく、点と点を結ぶ線でもなく、動く線である竜。水の道、生きものの道、風の道、涼の道、物語が生まれる道など、様々なメタファーとして、大都市原宿表参道に、そして私達の心の中に眠っています。都市空間を「生きもの」や「森の風」という新たな文脈で読み解くことで、都市に眠る竜たちをよびおこしましょう！





in  
原宿表参道

# 風船トーク × ウォーク 2011.6.11

ミツバチはささやく  
「わたしの壁は溶ける」。

## 13:30~16:30 風船ウォーク

ふわふわとゆれる風船を片手に、原宿・表参道を  
神宮の森から吹き出す涼しい風にのって歩いてみ  
ます！ まちが、いつもと違ってみえてくる！

13:30 CHANGE THE WORLD 表参道アカデミー集合

## 19:00~21:00 風船トーク vol.4

渋谷アップリンクファクトリーにて、民族音楽のラ  
イブと都市の壁を溶かすトークを予定しています！

表参道を起点に都市空間を「生きもの」や「森の風」といった新たな文脈で  
読み解きながら、都市に潜在する里山にダイブ！そして竜たちを浮上させて  
いく風船ウォークと風船トーク。今回は、原宿ではじまった養蜂をモチーフ  
に、原宿に広がるミツバチたちの文脈から生まれる新たな都市のテイスト、  
蜜をイメージしながら、土地に深く眠る竜を復活させる物語をつむいでいき  
たいと思います。民族音楽の音色とともに、「生物多様性」や「エネルギー  
シフト」などもふくめた新しい物語を原宿表参道から発信していきましょう。  
都市に眠る竜たちをめざめさせるプロジェクトに、ぜひご参加ください。

13:30～ 風船ウォーク (雨天中止)  
「まち歩き・風歩き・いきもの歩き」

@CHANGE THE WORLD 表参道アカデミー集合

風と一緒に歩けば、いつもと違う何かが、  
意外な出会いが待っているかもしれない。

東京都心の大きな森、明治神宮から  
初夏のコンクリートジャングルに流れ出す  
幾筋もの涼風。風船ウォークでは、その森の  
風を案内人に、風やトンボ、ミツバチたち  
と一緒に「動き」そのものになって、  
いつもとは違った視点でまちを歩いてみます。

19:00～ 風船トーク vol.4

ミツバチはささやく「わたしの壁は溶ける」。

@渋谷アップリンクファクトリー

わたしは、都市の片隅でひそかに壁をつくる。  
ビルの谷間に咲く小さな花をさがし求めるために  
わたしは壁の中で生まれ、生きた。  
でも、わたしの壁は溶ける。  
壁は溶けてかすかな虹になる。

わたしは、都市の片隅でひそかに壁をつくる。  
季節に移ろう花々の証をとどめ置くために  
わたしは見知らぬ花々をむすびつける。  
でも、わたしの壁は溶ける。  
壁は溶けて灯をとます。

わたしは、都市の片隅でひそかに壁をつくる。  
まちを読み替え、見知らぬ花と出会うために  
わたしはふるえる、無数の羽音の中で  
わたしの壁は溶けて音をうるおす。  
壁は溶けて音楽を奏でる。

わたしは、都市の片隅でひそかに壁をつくる。  
忘れられた花をよびもどすために、唇に虹をかける。  
わたしは蜜をつくる。虹のように甘い  
わたしの壁の中では虹色の花が育つ。  
壁は溶けて空に花を描く。

わたしは都市の片隅でひそかに壁をつくる。  
でも、わたしの壁は溶ける。  
震えるわたしの言葉の中で  
壁は溶けて  
色とりどりの風船になる。



きしもとタローさん



千葉泉さん



## 千葉泉

ラテンアメリカ地域の研究者にし  
て演奏家。大阪大学でスペイン語やラ  
テンアメリカ文化の授業を担当するかたわ  
ら、同地域の民衆の歌謡を紹介する活動を行い、  
笛演奏家のきしもとタロー氏とも親交がある。近  
年は「人のこころ」や「さまざまな出来事」  
をテーマとするオリジナル曲の作曲も手が  
けている。著書に『国際理解に役立つ  
世界の民族音楽⑥南・北アメリカ  
の音楽』（ポプラ社）がある。



## きしもとタロー

音楽家（笛演奏家・作曲家）。  
12歳で南米アンデス山岳地域の音  
楽に出会い、縦笛ケナを自ら製作し学  
び始める。その後ヨーロッパ各地やアジア  
諸国等、様々な地域の音楽文化に触れて来た  
彼は、幅広い地域の音楽文化に造詣が深く、舞台  
でも多種多様な笛を演奏、同時に数多くの作曲  
を行っている。2000年オーストリアでの公  
演、2003年ウズベキスタンの古都サマ  
ルカンドにおける東洋音楽祭への招  
聘等、その作曲作品と演奏は国  
内外で高い評価を受けてい  
る。<http://taro.co.jp/>

## 飯島 博

NPO 法人アサザ基金、代表  
理事。1995年から湖と森と人  
を結ぶ霞ヶ浦再生事業「アサザプ  
ロジェクト」を開始。独自のアイデア  
で様々なビジネスモデルや事業を提案、上  
流から下流まで、地域住民、学校、企業や行政、  
農林水産業を結ぶネットワーク事業、市民  
型公共事業と呼ばれている。全国各地  
で竜や河童、キジムナー、子どもた  
ちと一緒に社会の壁を溶かし膜  
に変える取り組みを展開中。

日時：6/11(土) 19:00～21:00

(開場 18:30)

場所：アップリンクファクトリー  
(渋谷区宇田川町37-18 トツネビル  
TEL 03-6825-5502)

参加費：1000円 (1drink 込み)



お申し込みは、NPO 法人アサザ基金 (✉[asaza@jcom.home.ne.jp](mailto:asaza@jcom.home.ne.jp)) まで、(風船ウォーク/風船トーク)に参加される方  
のお名前・ご連絡先・参加人数をお知らせください。当日連絡先：080-3497-3399 (アサザ基金・坂田)

## 原宿表参道・森の風・森の恵プロジェクト

主催：原宿表参道まちエコキッズネットワーク 共催：商店街振興組合原宿表参道櫓会  
連絡先：NPO 法人アサザ基金 TEL 029-871-7166 FAX 029-871-7169 ✉[asaza@jcom.home.ne.jp](mailto:asaza@jcom.home.ne.jp)

